

東京商工リサーチが推奨する 優良企業とは？

優良企業情報誌「エラベル」とは？

「Aレベルの会社を“選べる”」というコンセプトで、地域と人と企業のトライアングルを結ぶ地域密着の優良企業紹介誌です。信用調査会社である東京商工リサーチ(以下TSR)ならではの目線で選んだ地元の優良企業にスポットを当てて、各企業のPRや就職活動のサポートを行うことを目的としています。



Aランク企業とは？

本誌では評点55点以上の会社を「Aランク企業」として認定しています。TSRが信用調査などを通じて収集した全国の企業データは441万社において、そのうち55点以上の会社は全体の8%しかありません。本誌で紹介する会社はその基準をクリアした会社ですから、「日本企業の上位8%にランクインする企業」ということになります。



企業信用調査を通じてこのようなデータを収集します。これらを元に総合的に算出したのが[TSR評点(100点満点)]です。各々の分野で細かく配点が設定されています。

中小企業の魅力

就職活動開始当初はどうしても大企業中心に目が行きがちですが、中小企業にも違った魅力があります。



有名な企業だけが就職先ではありません。地場の中小企業にも優れた会社がたくさんあります。過去に比べて転職は身近になってはいますが、それでも初めての就職先に定年まで勤める可能性も高いのも事実です。星の数ほどある会社の中から一生懶向き合う会社を見つける。本誌がその手助けとなれば幸いです。

東京商工リサーチと企業信用調査

私たち消費者は、コンビニやスーパーなどで商品を買うとき、クレジットカード決済を除き商品と引き換えに代金を支払います。しかし、企業と企業の間での取引は異なります。企業の取引には、同じ会社と何度も継続的に取引をするという特徴があるので、取引のたび支払いを行えば、売る方も買う方も手間がかかります。そこで、商品を先に納め支払いは1ヶ月後などルールを決め、まとめて払うようにするのが一般的です。アルバイト代もその日払いではなく、1ヶ月分を銀行振込という人が多いと思いますが、それと同じです。商品が先に支払いが後という取引では、売り手は無事に売上代金を回収できるかどうか、というリスクが存在し、このため安心して取引できる相手なのかを「知りたい」というニーズが発生します。これに答えるのが私たちTSRの行っている「企業信用調査」です。

TSRは1892(明治25)年創業の日本最古の信用調査会社です。現在全国で82カ所の事業所を構え、2,003名の従業員がいます。信用調査などを通じて収集した全国の企業データは441万社において、日々蓄積を続けています。また1994(平成6)年には世界最大の企業情報サービスのリーディングカンパニーであるダンアンドブラッドストリート(D&B)と業務提携し、全世界240カ国超、約5億9,600万件の事業所を含む企業情報を提供しています。



会社の数ってどれくらいあるの？

「家族や知人が働いている会社」「CMやネットで見かける会社」「近所の会社」など、皆さん知っている会社は何社ぐらいありますか。

日本全国には約500万社の会社があります。日本の上場会社が4,109社(2025年1月末時点)ですから、世の中の殆どの企業は非上場会社ということになります。現代においての産業は、細分化され複雑に絡み合い、「ある製品の特定の重要部分だけを作る会社」「その会社しかできない特殊なサービス」など知名度は低いものの、独自の地位を確立している会社も数多くあります。そういった多くの会社では今後の成長のため人材は必要なものの、「なかなか学生に振り向いてもらえない」、「存在に気付いてもらえない」という現状があります。